

(案)

# 札幌市下水道ビジョン【本書】

# 2026-2034

Sapporo Sewerage Vision 2026-2034 Draft





An isometric illustration of a city grid with various buildings, trees, and people. Overlaid on the city are several thick, orange lines representing sewer lines. These lines run diagonally across the city, intersecting at various points. One prominent line runs from the top left towards the bottom right, while others branch off at different angles. The background is a light gray grid.

札幌市下水道ビジョン

2026-2034

Sapporo Sewerage Vision 2026-2034

## TABLE OF CONTENTS

- 1 はじめに
  - 2 札幌市の下水道のあゆみと整備状況
  - 3 ビジョン2030・プラン2025の取組結果
  - 4 現状と課題
  - 5 計画体系
  - 6 施策と取組内容
  - 7 財政収支計画
  - 8 進捗管理
- 参考資料

# はじめに

## 1-1 策定趣旨

- 札幌市では、2020年度に10年間の下水道事業の方向性を示す「札幌市下水道ビジョン2030」(以下、ビジョン2030)を策定しました。また、2021年度には、ビジョン2030を実現するための前半5年間(2021～2025年度)の具体的な事業計画と財政収支計画を示す「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」(以下、プラン2025)を策定し、計画的に下水道事業を進めてきました。
- しかし、全国的な下水道施設の老朽化に伴う事故の発生や能登半島地震をはじめとした自然災害の頻発化・激甚化のほか、札幌市では2021年に人口が減少局面に移行したなど、札幌市の下水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。また、脱炭素社会・循環型社会の実現や感染症対策への貢献、上下水道一体となった取組の推進など下水道事業に求められる役割は多様化しています。
- このような状況の中、下水道を未来へ引き継いでいくため、地球環境保全に貢献しながら、着実に施設の改築※・再構築※などの取組を進めていくことが重要です。あわせて、地方公営企業として持続可能な経営環境を確立していく必要があります。
- 札幌市の下水道事業は、2026年に100周年を迎えました。下水道は、市民の安全で快適な暮らしと良好な環境を守り、社会経済活動を支える必要不可欠なライフラインです。市民、企業、行政などの多様な主体が札幌市の下水道の目指すべき方向性を共有し、共に取り組んでいくために、次の新たな100年の礎となる今後の約10年間の下水道事業の方向性と事業計画、財政収支計画を示す「札幌市下水道ビジョン(2026～2034)」(以下、本ビジョン)を策定します。

### 事業環境の変化

下水道施設の  
老朽化に伴う  
事故の発生

自然災害の  
頻発化・激甚化

人口減少局面への  
移行



### 役割の多様化

脱炭素社会・循環  
型社会への貢献

感染症対策への  
貢献

上下水道一体での  
取組推進

### 札幌市下水道ビジョン (2026～2034)

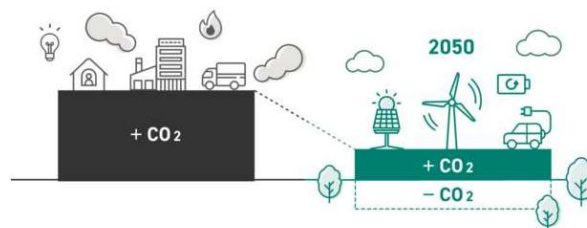
- 暮らしを守り、自然と資源をいかす
- みんなで未来につなぐ



埼玉県の道路陥没事故の状況  
(出典:国土交通省)



北海道胆振東部地震による道路陥没  
(出典:札幌市)



カーボンニュートラルのイメージ図  
(出典:環境省)

※改築:老朽化した施設を更新または長寿命化対策により、耐用年数を新たに確保すること。  
※再構築:老朽化した施設の配置・規模・処理方式などを根本的に見直し、再び組み立てなおすこと。



# 1 はじめに

## 1-1 策定趣旨

- ・暮らしを守り、自然と資源をいかす
- ・みんなで未来につなぐ

札幌市  
下水道ビジョン  
2026～2034

2026:100th Anniversary

ビジョン  
2030

老朽化施設への対応  
増加する自然災害への対応  
一層厳しくなる経営環境への対応

ビジョン  
2020

改築の時代への備え  
厳しい財政状況への備え

1990年代

高度処理の導入・  
合流式下水道の改善

1980年代

下水道資源の有効利用

1960年代

公共用水域の水質保全

1950年代

生活環境の改善

1926年

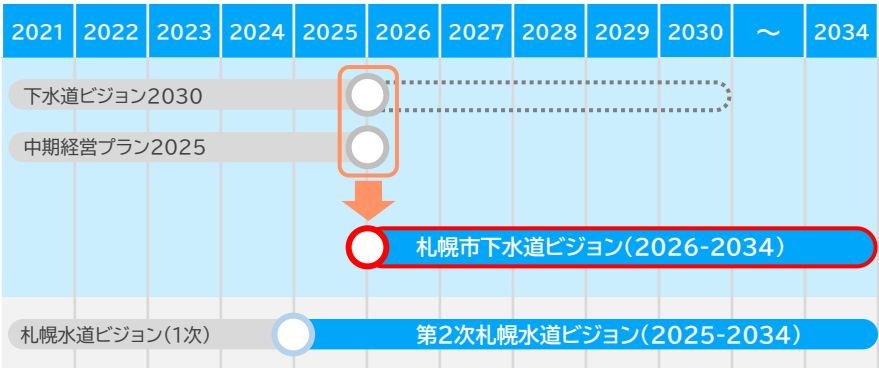
浸水の防除

# はじめに

## 1-2 計画期間

計画期間：2026年度～2034年度

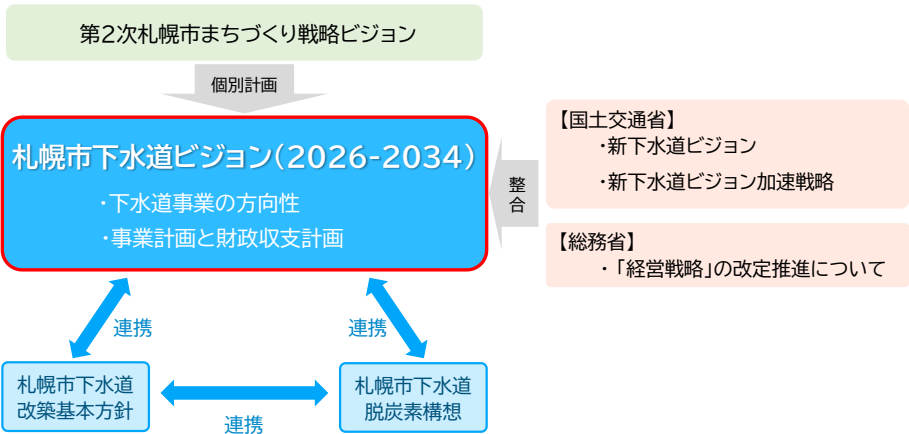
- ビジョン2030の計画期間は、2021年度から2030年度まででしたが、老朽化施設の急増や人口減少など下水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、前倒してビジョンを策定します。
- また、国の水道行政移管による上下水道行政一元化の動きを踏まえ、本ビジョンの計画最終年度は、「第2次札幌水道ビジョン(2025～2034)」とあわせ、2034年度とします。



札幌市下水道ビジョン(2026-2034)の計画期間

## 1-3 位置づけ

- 本ビジョンは、札幌市の計画体系で最上位に位置する「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」で示すまちづくりの考え方・方向性に沿って策定します。
- 本ビジョンは、国が示す「新下水道ビジョン※」や「新下水道ビジョン加速戦略※」と整合を図るとともに、国が公営企業に策定を求めている「経営戦略※」としても位置付けるものです。
- 中期(概ね5年間)の事業計画と財政収支計画については、これまで「札幌市下水道事業中期経営プラン」で示していましたが、これらについても本ビジョンで一体的に定めます。



札幌市下水道ビジョン(2026-2034)の位置づけ

※新下水道ビジョン: 国が、下水道の使命や長期ビジョン、そして長期ビジョンを実現するための中期計画を定めたもの。  
※新下水道ビジョン加速戦略: 国の新下水道ビジョンの実現を加速するため、5年程度で実現すべき重点施策などを定めたもの。  
※経営戦略: 公営企業が将来にわたって安定的に事業継続していくための中長期的な基本計画のこと。これには、施設・設備に関する投資の見通しと、投資に対する財源の見通しを盛り込む必要がある。